

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 令和 2 年 6 月 17 日

市所管部署 石巻市 河北総合支所 地域振興課

2 法人名称等

法人名称 株式会社かほく・上品の郷
 法人所在地 石巻市 小船越字二子北下1番地1
 設立年月日 平成 16 年 10 月 22 日
 代表者職・氏名 代表取締役 末永 佑工

設立目的・経過
 道の駅「上品の郷」の維持管理及び運営の受諾を行う事を目的とする。平成17年3月 指定管理者に指定管理に関する協定締結 平成18年4月石巻市の指定管理者に指定石巻市との管理に関する協定締結

3 定款上の事業内容

- (1) 石巻市及び地方公共団体が設置する施設（道の駅）の維持管理及び運営の受諾業務
- (2) 書籍・日用品雑貨・食料品・たばこ・酒類・農林水産物の販売事業
- (3) 食堂施設の経営事業
- (4) その他前各号に付帯する一切の業務
- (5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の出資・出捐額	市以外の出資・出捐割合
50,450 千円	45,000 千円	89.2 %	個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員

	H29期末	H30期末	R1期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	0
非常勤	6	6	6
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	2	2
計	7	7	7
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	3	3	2

(2) 職員

	H29期末	H30期末	R1期末
常勤	14	15	15
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	70	69	67
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	84	84	82
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

- ・お客様に対するサービスを最大限に心がけ、経営の合理化と節減をはかり、地域に貢献できる企業として成長する。
- ・日本全国の皆様から愛され、親しまれ、また行ってみたいと言われる施設として、地域活性化に貢献する。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成30年度期	令和元年度期	令和2年度期	令和3年度期	令和4年度期
純売上高	千円	目標計画	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
		実績	890,294	881,788			
目標・指標の説明			法人売上高に法人以外の売上高（農産物直売所出品者の売上等）を加えた、道の駅全体の売上高である純売上高を指標とし、目標として年間10億円を設定				
目標未達の場合の要因分析			毎月社員会議で協議を行っている改善会議で分析をし、新しい取組みを実施する				

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
道の駅 管理運営業務	4月、5月の大型連休に始まり、前年に比べて集客人数の増加、売上も好調に推移しておりました。10月の台風19号の影響で農水関連に甚大な被害が発生しましたが、生産者の方々の頑張りで乗り越える事ができました。2月までは前年を2%上回る売上で推移しておりましたが、コロナウイルスの影響により3月の時間短縮及び休館が響き、マイナスとなりました。	10月の増税に向けて、システムの変更及び軽減税率の対応などソフト面で忙しい1年でした。キャッシュレス化が進みコンビニ部門で6月よりカード類が使用可能になり、レストランでも券売機対応の電子マネーの取扱いを始めました。直売所に関してはR2年4月からの導入になります。今後は、直売所・コンビニ部門でのレイアウトの変更を進めていき、取扱品目もお客様からの要望が多い商品に入替えを行いたいと思います。	修繕費はだいぶ抑える事が出来ましたが、衛生管理費の見直しを行い更なる減額に努めます。また、お客様のアンケートの声を分析し各部門で販売に反映させており、無料広告を利用したPR活動を行い情報発信に努め、広告費・販売促進費の削減を行いました。
事業の公共性、 公益性	社員一同笑顔絶やさず、お客様を感謝の心でお迎えし、常に奉仕の心で対応する事を心がけております。レストランでは、地場産品の手作り料理を、直売所では安心安全な商品の販売に努めることはもちろん、トレーサビリティの充実も図っております。また環境に配慮したCO2見える化にも取り組みながら、お客様に憩いと安らぎ、そして安心安全な商品等を提供し、体の健康だけでなく心の健康にも配慮した事業を行っております。		

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

別紙のとおり。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	株式会社かほく・上品の郷
------	--------------

1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表 (B/S)	借方(科目)	平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減
	流動資産	210,003	130,571	▲ 79,432	126,942	▲ 3,629
	うち 現金・預金	194,051	111,640	▲ 82,411	110,674	▲ 966
	固定資産	56,193	75,333	19,140	75,278	▲ 55
	有形固定資産	32,740	69,120	36,380	69,110	▲ 10
	無形固定資産	642	593	▲ 49	544	▲ 49
	投資その他の資産	22,811	5,620	▲ 17,191	5,624	4
	資産の合計	266,196	205,904	▲ 60,292	202,220	▲ 3,684
	貸方(科目)	平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減
	流動負債	75,584	74,406	▲ 1,178	81,425	7,019
	うち 短期借入金					
	固定負債	48,872	7,938	▲ 40,934	17,451	9,513
	うち 長期借入金				11,604	11,604
	負債合計	124,456	82,344	▲ 42,112	98,876	16,532
	純資産	141,740	123,560	▲ 18,180	103,344	▲ 20,216
	うち 資本金	50,450	50,450		50,450	
	うち 資本剰余金					
	うち 利益剰余金	91,290	73,110	▲ 18,180	53,044	▲ 20,066
	うち その他					
	負債・純資産の部合計	266,196	205,904	▲ 60,292	202,220	▲ 3,684

損益計算書 (P/L)	科目	平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減
	売上高	437,017	428,218	▲ 8,799	419,007	▲ 9,211
	売上原価	151,706	147,494	▲ 4,212	148,435	941
	売上利益	285,311	280,724	▲ 4,587	270,572	▲ 10,152
	販売費・一般管理費	305,146	330,054	24,908	313,740	▲ 16,314
	営業利益	▲ 19,835	▲ 49,330	▲ 29,495	▲ 43,168	6,162
	営業外収益	5,482	4,564	▲ 918	21,490	16,926
	営業外費用	1,036	6	▲ 1,030	222	216
	経常利益	▲ 15,389	▲ 44,772	▲ 29,383	▲ 21,900	22,872
	特別利益		44,000	44,000	2,042	▲ 41,958
	特別損失	23		▲ 23		
	税引前当期純利益	▲ 15,412	▲ 772	14,640	▲ 19,858	▲ 19,086
	法人税等	▲ 30	17,408	17,438	208	▲ 17,200
	当期純利益	▲ 15,382	▲ 18,180	▲ 2,798	▲ 20,066	▲ 1,886

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

	区分	平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減	
キャッシュフロー計算書（C/S）	営業活動によるキャッシュフロー	▲ 10,381	▲ 35,133	▲ 24,752	1,529	36,662	
	税引前当期純利益	▲ 15,412	▲ 771	14,641	▲ 19,857	▲ 19,086	
	引当金の増減額	8,227	▲ 32,056	▲ 40,283	14,016	46,072	
	受取利息及び受取配当金	▲ 18	▲ 15	3	▲ 16	▲ 1	
	営業活動に係る資産及び負債の増減	▲ 1,383	▲ 2,200	▲ 817	7,652	9,852	
	利息及び配当金の受取額	18	15	▲ 3	16	1	
	利息等の支払額				▲ 74	▲ 74	
	法人税等の支払額	▲ 1,813	▲ 106	1,707	▲ 208	▲ 102	
	投資活動によるキャッシュフロー	▲ 2,577	25,367	27,944	▲ 2,985	▲ 28,352	
	有価証券の増減額						
	有形固定資産等の増減額	▲ 2,123	▲ 47,278	▲ 45,155	▲ 13,948	33,330	
	投資有価証券の増減額	▲ 503	72,645	73,148	10,963	▲ 61,682	
	貸付金の増減額						
	その他の固定資産等の増減額	49		▲ 49			
	財務活動によるキャッシュフロー					11,454	11,454
	短期借入金の増減額						
	ファイナンス・リース債権等の増減額						
	長期借入金の増減額					11,604	11,604
	資本金等の増減額					▲ 150	▲ 150
	配当金の支払額						
	その他固定資産等の増減額						
	現金及び現金同等物に係る換算差額						
現金及び現金同等物の増減額	▲ 12,958	▲ 9,766	3,192	9,998	19,764		
現金及び現金同等物期首残高	67,172	54,214	▲ 12,958	44,448	▲ 9,766		
現金及び現金同等物期末残高	54,214	44,448	▲ 9,766	54,446	9,998		

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）					
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）					
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）					
委託料及び指定管理料				18,700	18,700
借入金（期末残高）					
短期借入金					
長期借入金					
出資・出捐（期末時）	45,000	45,000		45,000	
債務保証額（期末残高）					
損失補償額（期末残高）					
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）					

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社かほく・上品の郷

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

流動資産が3,629千円減少したのは、商品、貯蔵品の在庫商品が減少した為で、現金・預金は966千円の減額となった。利益剰余金が20,066千円減額になっており、今期は増額になるように努める。貸借項目で重要な数値「自己資本率」は51.1%である。
(当期：51.1% 前期：60.0% 前々期53.2%)

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
長期借入金	11,604千円増	増税に伴いシステム入替えの為借入
利益剰余金	20,066千円減	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として市から要請を受け、温泉保養施設及びレストランを約1か月間休業したことが大きく影響し、売り上げが減少した為
棚卸資産	1,382千円減	商品、貯蔵品の在庫が減少した為

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

当期純利益は、前年比1,886千円減額の▲20,066千円であり、その主な要因としては10月の増税に伴い客数の減少、コロナウイルス感染症拡大防止の為2月・3月の時短営業及び休業要請による売上の減少によるものである。販売費・一般管理費が前年比16,314千円減額になっているが、更なる経費削減に努めなければならない。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
販売費・一般管理費	16,314千円減	広告宣伝費や修繕費等の削減により減少したもの
特別利益	41,958千円減	前期は修繕費用に充てる為に預金を切り崩して特別利益として計上していたが、当期は計上分がなかった為
法人税等	17,200千円減	法人調整額がなかった為

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

営業活動によるキャッシュフローは当期末で1,529千円となっており、前期と比較すると36,662千円増加しているが、前期を振り返ると人件費、修繕費が大幅に増加した事が影響したことを考えると、キャッシュフローは大きく改善されていない。期末での現金預金増加の1つとして、銀行より融資を受けたことが挙げられる。新年度より新部門（施設営繕課）を立ち上げたことにより、修繕費等のコストを抑える事が出来るが、コロナウイルスの影響が今後どこまで事業に及んでくるか、資金繰りを含めて注意していく必要がある。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
有形固定資産等の増減額	33,330千円増	前期は大口の設備投資があった事により固定資産が増加した為
投資有価証券の増減額	61,682千円減	当期も前期に引き続き定期預金を解約、現金化した為
長期借入金の増減額	11,604千円増	石巻商工信用組合より借入。軽減税率対応のシステム入替の為

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
コロナウイルスによる指定管理料	18,700,000	コロナウイルス感染症防止策で時短営業及び休業の為

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：株式会社 河北総合支所

担当部署名：河北総合支所地域振興課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

10連休という長いゴールデンウィークだったことが功を奏し、5月は利用人数及び売上額が共に前年の1.3倍を記録した。10月に発生した台風の影響を受けつつも2月末までは前年を大きく上回る売上額を維持していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としてR2.3.5から温泉保養施設及びレストランを休止したことが響き、最終的に決算で3期連続の赤字となった。

新型コロナウイルスの先行きが見通せない状況にあるが、「新しい生活様式」を取り入れながら、様々な形で利用客を呼び込めるような魅力的な策を講じ、地域活性化に貢献することを期待する。

（2）主要事業の成果、課題

キャッシュレス化に対応してコンビニとレストランで電子マネーの取扱いを開始し、利用者の利便性向上を図った。

今後は、直売所とコンビニのレイアウトを変更し、導線をより良くする改善が求められる。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出自粛要請が出されて以降、仕入れを抑えたため、商品及び貯蔵品の在庫商品が減少し、流動資産が3,629千円減少した。

また、リース債務は2,091千円減少したが、軽減税率対応のシステム入替えのため11,604千円を長期借入したことにより、固定負債は9,513千円増加し、資産全体として1.8%の減となった。

（2）損益計算書又は正味財産増減計算書

売上高の減少に伴い売上利益が減少しているが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響額分を指定管理料として18,700千円補填したため、当期純利益の減少率は10%減にとどまっている。

(3) キャッシュフロー計算書

現金及び現金同等物期末残高は9,998千円の増だが、長期借入金11,604千円も含まれている。

(4) 市による財政・金融支援等

前期までは会社設立時の出資のみだったが、今期は新型コロナウイルス感染症拡大防止で休止期間中の休業補償として、初めて18,700千円の指定管理料が発生した。

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

情報や交流の拠点施設として、道路利用者や地域住民等に対し、より一層親しまれるようサービスの向上及び運営の効率化に努めるほか、当市の災害時支援協定施設、並びに全国モデル「道の駅」として信頼性を益々高めていくことを期待する。